

2010年度北海道予算固まる!

かね国通信

第20号
道政報告
配布資料
(光星版)

一般会計2兆8181億円

高橋はるみ知事は2月17日、2010年度道予算案を発表した。一般会計は09年度当初予算比2%減の2兆8181億円、道債の借り換え分を除いた実質ベースでは0.6%の微減となった。地方交付税は、償還資金を国が交付税で補てんする臨時財政対策債も含め前年度比6.7%増となったが、景気低迷で税収が大きく落ち込み、90億円の歳入が不足。当初予算としては4年連続の赤字予算編成となった。

雇用重視
2500億円

目玉となる雇用対策は、本年度の2倍以上となる250億円を計上。扶養家族がいる中高年の再就職を支援するための相談窓口を札幌市内に開設するほか、深刻化する高卒者の就職難を改善するため、上川など道内8力所の教育局に求人開拓を担当する職員9人を配置する。

財政危機は依然続く
道税収入が09年度当初比で500億円前後減り、1989年度以来、21年ぶりに5千億円を下回る見通しである。景気低迷により、法人道民税や法人事業税の減収が見込まれるため。道の歳入は、全体の約4分の1を地方交付税が占める。政府は全国で1兆1千億円を増額する方針を示しており、配分額の詳細を待たなければならぬが、早期健全化団体への転落は当面回避できる模様。一方、歳出は生活保護費などの社会保障関係経費が100億円を超える規模で増加する見通しで、2期目最後の本格予算を編成した知事は、より厳しい財政運営を迫られよう。

北海道新幹線については、

おもな新規事業

緊急雇用創出・重点分野雇用創造	約73億円
中高年年齢者再就職支援事業	約2200万円
食のクラスター関連事業	約7億6000万円
地域づくり総合交付金	約34億6000万円
総合内科医養成研修センター	約8000万円
介護職員の待遇改善推進	約77億7000万円
農地冷害・湿害対策事業費	約12億円
魚の消費拡大運動(魚チェン)	400万円
新エネルギー導入フロンティア事業	約4億円
エゾシカ対策事業	800万円
子どもの放課後対策事業	3800万円
待機児童解消事業費など	75億5000万円
航空路線の利用拡大支援事業	1500万円

新青森〜新函館間の整備費450億円が計上されたことに加え、未着工区間についても新規着工が決定された場合に対応できるように全国で90億円が確保されたことは、札幌の札幌延伸実現に向け私としても全力で取り組みます。

私たちが払った税金、10000円の使い道 (おもなもの)

① 借金返済	2500円
② 教育費	1700円
③ 医療・福祉	1270円
④ 経済振興	1000円
⑤ 道路建設など	1000円
⑥ 警察	460円

編集・発行

北海道議会議員 包國嘉介
 東区北8条東16丁目1-23
 電話・FAX 011-743-3314

